

令和4年第6回（11月）瀬戸内市議会定例会

行政報告

本日は、令和4年第6回（11月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

行政報告の前に市民の皆さま、市議会議員の皆さまにお詫びを申し上げます。

11月20日 本市職員が、公金窃盗の容疑で逮捕されました。市政に対する信頼を著しく失墜させる事態となりましたことを、深くお詫び申し上げます。これまでも綱紀保持、服務規律の徹底を図ってまいりましたが、改めて公務員倫理につきまして、職員への徹底を図り、信頼回復に努めてまいります。

また、公金の扱いにつきましては、改めてチェックを行い、適切な管理ができるよう見直しを行っております。

急速に進んだ円安や、ロシアのウクライナ侵攻により、物価が高騰し、事業者や市民の暮らしに大きな影響を与えています。このため、10月26日の臨時議会において、国の交付金を活用し、特に家計への影響が大きい住民

税非課税世帯等に対し、一世帯当たり5万円を給付する事業、また、エネルギー価格高騰の影響を受けている事業者に対し、電気、ガス、燃料に係る経費の一部を給付する事業に係る補正予算の議決をいただきました。今後も国の交付金等を有効に活用し、物価高騰の影響を受ける市民の生活支援を行っていきます。

新型コロナウイルス感染症については、感染者が増加しており、第8波に入ったとの報道もあります。また、インフルエンザの流行も予測されており、ワクチン接種の促進や基本的な感染予防の徹底を改めて周知していきます。

また、ゼロカーボン対策、土地利用計画、人口減少対策、DX推進等組織横断的に取り組まなければならない課題も多くなってきました。このため、現在新年度の機構の見直しを含めた執行部の体制強化について検討を行っています。協議が整い次第、議会の皆さまにもご報告させていただきます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

○防災対策について

9月14日に大型の台風14号が岡山県に接近し、暴風、高潮災害に備え災害対策本部を設置し災害対応にあたりました。避難情報の発令時には昨年度整備した、防災情報伝達システムによる屋外放送、戸別受信装置、防災アプリを活用し、市民に避難情報の伝達を行いました。また、災害対策本部

においては同システムの水位情報、ライブカメラ映像、移動系無線等により現場の情報収集を行いました。今回の台風では、幸いにも大きな被害はありませんでしたが、今後も研修や図上訓練を実施することにより職員の災害対応能力の向上を図り、大規模災害の発生に備えていきます。

次に、防災アプリの登録数については、10月末時点で約4千件となっています。各地区の防災訓練や出前講座に加え、マイナンバーカードの出張申請会場等において登録の支援を行い、多くの皆さまに登録いただけるよう普及啓発に努めています。また、12月には再度周知を図るため、広報紙にチラシを折り込みお知らせすることとしています。

○ 食のしあわせプロジェクトについて

地産地消による食育の推進を図るため「食のしあわせプロジェクト」を開始しました。

市では、平成26年度から市民活動団体と協力して地場産物を学校給食に供給し、地産地消を推進する取り組みを行ってきましたが、この新たなプロジェクトにより、農業者、給食調理場、保護者、行政などが一体となった取り組みに発展させ、市内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の給食への地場産物の利用をさらに拡大し、学校給食における地産地消100%を目指すものです。

具体的には、ふるさと納税を活用した財源により市が地場産物を買上

げ、学校給食に供給することで、子どもたちが地場産物への関心を持ち、食べ物の旬を感じることに加え、保護者を巻き込んだ食育の推進、農業・漁業の活性化、地域内の経済循環など多くの波及効果を見込んでいるものです。

11月23日には、プロジェクトの開始イベントとして「食のしあわせフォーラム」をゆめトピア長船で開催し、食育プロデューサーの江草聡美さんの基調講演や同時開催した「食のしあわせマルシェ」での地場産物の直売などを通じて、参加した多くの皆さんに地産地消と食育について知っていただく機会となりました。

○ 市営バスについて

両備バスが9月まで運行していた「牛窓・北回り・西大寺線」の路線廃止に伴い、牛窓から邑久駅までの間を「市営バス・牛窓中央線」として10月1日から運行を開始しました。

速報値では、10月一か月間の利用者数は約3,100人で、1日当たり約100人の方にご利用いただいている状況です。また、1乗車当たり一律100円の利用しやすい運賃としたことやお得な定期券を導入したことで、今までは保護者が自家用車で送迎していた高校生や、マイカー通勤だった方がバス利用に転換されているケースなども見られます。

今後も市営バス全ての路線において、邑久駅での赤穂線との乗継ダイヤ

の見直しや、主要バス停での待合環境の整備など、改善すべき課題に対応しながら、市内公共交通網の維持確保に努めていきます。

○ ゼロカーボンについて

脱炭素社会の実現に向けた取組を効果的に行うため、環境省の交付金事業である脱炭素先行地域づくり事業に本年8月26日に応募しましたが、11月1日に不選定の通知がありました。

今回の提案は、すでに選定済みの重点対策加速化事業と組み合わせて実施することで、市内対象地域での発電事業等の取組みをモデルケースとした市内全域への展開や、市民や事業者への補助制度の拡充を行うことを計画していました。

今後は脱炭素社会の実現に向けた効果的な施策について検討を行い、次回以降の脱炭素先行地域づくり事業への応募も含めて、検討を進めていきます。

なお、既に選定されている重点対策加速化事業については、令和5年度から一般家庭の太陽光発電設備や蓄電池、電気自動車等の導入に係る補助制度の新設を予定しており、令和6年度以降は事業者の太陽光発電設備やEVスタンド導入に係る補助制度等を設けていく計画としています。

○ 新型コロナワクチン接種について

本市では、現在、市内12の医療機関とゆめトピア長船等の集団接種会場で、オミクロン株対応新型コロナワクチンの追加接種を実施しています。

また、10月24日から、生後6か月から4歳の乳幼児が接種対象となったため、乳幼児への新型コロナワクチン初回接種も、市内の医療機関で開始したところです。

新型コロナウイルス感染症は、一昨年、昨年と年末年始の人流に併せて流行しています。また、インフルエンザとの同時流行に備えて、希望される方が年内に接種を受けられるように努めます。

○ 瀬戸内市歴史まちづくり財団について

歴史文化資源の保存と活用を推進し、歴史文化の振興や地域の活性化を図ることを目的に「公益財団法人寒風陶芸の里」の事業を拡充し、「公益財団法人瀬戸内市歴史まちづくり財団」として業務を開始しました。この財団では、これまで寒風陶芸の里で実施してきた事業に加え、歴史文化資源に関する事業として、「調査・研究に関する事業」、「教育、観光等、活用及び広報に関する事業」、「地域団体等への支援及び人材育成に関する事業」などを実施することにより、「歴史文化資源を守り活かすための取り組み」を進めていきます。

○ 備前長船刀剣博物館について

備前長船刀剣博物館では、9月30日から11月27日まで林原美術館及び全日本刀匠会との共同開催による特別展「令和の名刀・名工展」を開催しました。本展は、現代刀職の公募展で受賞した作品を展示し、現代刀職の技術を顕彰するとともに、作刀技術や研磨技術などの継承・発展を目的として開催され、刀職に関する人材育成に寄与することが期待されています。

また、12月3日から来年2月12日まで開催するテーマ展「刀装具―使う・見せる・彩る―」では、12月3日から11日までの期間限定で、国宝「山鳥毛」の拵（こしらえ）を本市初公開します。

○ 瀬戸内市立美術館について

瀬戸内市立美術館では、10月9日から来年1月15日まで特別展「神々の視座―井手康人―」展を開催しています。本展では、瀬戸内市在住で、日本美術院同人、現在の日本画壇を牽引する井手康人氏の代表作を一堂に集め、顕彰するとともに、学校や地域と連携したワークショップやスタンプラリーなどを行い、地域の文化芸術の振興を図っています。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、人事4件、条例8件、補正予算15件、その他3件、計30件です。

よろしくご審議をいただき、適切なお決定をいただきますようお願い申し上げます。市長部局の報告を終わらせていただきます。

令和4年11月28日

瀬戸内市長 武久 顕也